

歩きたくなるまち ひろさきを目指して ～好奇心×居心地の良さ～

ウォーカブルなまちづくりとは

ひろさきウォーカブル推進会議は、弘前れんが倉庫美術館を中心とした周辺地域で活動する官民29者で構成する団体です。自分たちが欲しい暮らしのエリアビジョン「ひろさき、このさき、VISION BOOK 2050」を掲げ、オープンスペースの活用によるエリア価値の向上を目指した活動に取り組んでいます。

※ウォーカブルは、「歩く」を意味する「walk」と「できる」の「able」を組み合わせ、文字通り「歩きやすい」「歩きたくなる」「歩くのが楽しい」といった語感をもたせた造語です。

オープンスペースを活用した空間の価値づくりとは

「オープンスペースを活用した空間の価値づくり」とは、まちなかにある公園や広場などの公共的な空間を、一人ひとりの「やってみたいを実現する舞台」と「ゆっくりくつろぐ場所」へと変えていく取り組みです。令和6～8年度は、担い手育成や活動を継続できる仕組みづくりなどに取り組む実験型プロジェクト「HIROSAKI MACHI-PIC PROJECT2024-2026」を推進しています。このプロジェクトは、社会実験イベント「まちなかピクニック」の開催や担い手育成の取り組み、中間支援組織の設立などが評価され、第4回国土交通省まちづくりアワード〈構想・計画部門〉で特別賞を受賞しました。

「オープンスペースを活用した空間の価値づくり」の取り組みの一つとして、9月から10月まで中央弘前駅周辺にベンチやテーブルなどのストリートファニチャーを試験的に設置します。座る・話す・休むといった自然な滞在を生み出し、イベント時だけでなく、日常的に居心地よく過ごせる空間づくりを検証します。

◀ まちなかピクニックの様子

市では土手町を中心とした小さなエリアから、誰もが居心地よく過ごし、歩いて巡りたくなるような場所にしていこうと「歩きたくなるまちなか形成事業」を進めています。

そのうち、今回は、地域の事業者や市民、行政などが連携する「ひろさきウォーカブル推進会議」の取り組みを紹介します。

なお、広報ひろさき2月号（令和8年）の特集では、エリア再生に取り組む「まちづくりプレイングマネージャー」について紹介しています。

ぜひご覧ください。



問い合わせ先
都市計画課（☎ 35-1134）

実際に活動している皆さんに インタビュー！



一般社団法人 WonUp tsugaru 代表理事 宮川靖彦さん
（DOG FES IWAKI、WonWon マルシェ主催）

「愛犬と暮らしやすいまち」を目指して、DOG FES IWAKI などいろんなイベントを企画・運営中！



ウォーカブルなまちづくりに参画して得られたものは？

まちなかでは愛犬連れでイベントを開催することは難しかったのですが、まちなかピクニックに出会い、吉野町緑地での開催が叶いました。また、同じように挑戦し協力できる仲間がたくさんできました。

今後の挑戦を教えてください！

まちなかに活動の拠点を作るべく、飲食店開業に向けて準備をしています。愛犬家もそうでない方も、まちの中心でともに笑顔で暮らせる寛容なまちをめざして挑戦中です。



弘前大学サークルチェンブル 代表 中野目花奈さん
（けっ晴れ弘前マルシェ主催）

大学生のあれもこれもやりたいを叶えることをモットーに、「けっ晴れひろさきマルシェ」を企画・運営中！



ウォーカブル推進会議との出会いと学んだことは？

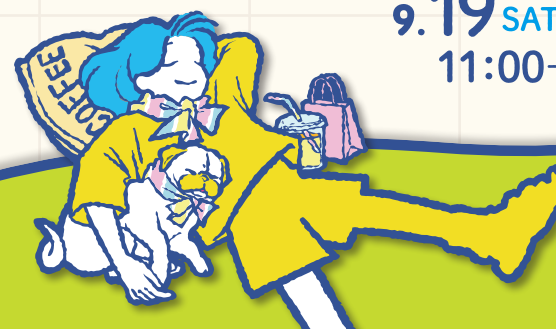
自分たちの主催イベントを企画していたときに、関係各所との協議と一緒にしてもらったことがきっかけです。個々人が日常的にできる範囲でチャレンジすることが、手触り感のあるまちづくりにつながることを学びました。

今後の展望を教えてください！

サークル「チェンブル」の活動に参加するメンバーが増え、主催イベントの開催規模も大きくなり、新しいことにチャレンジできる範囲が広がりました。新しいことに挑戦してみたい積極的なメンバーもあり、今後も世代を超えて継続的な活動ができると感じています。

ひろさき
まちなかピクニック
HIROSAKI MACHINAKA PICNIC 2026

9.19 SAT・20 SUN
11:00→19:00



令和8年度は、まちなかに「楽しみくつろぐことができる」空間づくりの仕掛けを実験していきます。これからも、居心地が良く好奇心あふれるまちなかの実現に向けて、さまざまな取り組みを実施していきます。ぜひ「まちなかピクニック」で体験してください。

